

# 外国人材受入れ事例

## とちぎ外国人材活用促進協議会

特別養護老人ホーム 栗野荘  
所在地：鹿沼市  
従業員数：49名



### 外国人の受入状況 2020年12月現在

○ 技能実習生のベトナム人3名（女性）を受入れ中（2019年11月から受入れ開始）

### 外国人受入れの目的・理由

- ・中山間地域で少子高齢化が進み、地域に根ざす特別養護老人ホームとして、なんとしても地域の介護を支えたいという思いから、外国人の採用に踏み切った。
- ・ハローワーク等での求人も行ったが、人が集まらなかった。

### 外国人の採用方法

- ・ベトナムの学校（送り出し機関）に出向き面接。

### 受入企業の声

- ・現地で面接を行った採用予定の人材が、誰一人来ないといったトラブルに遭い、採用に手間取ったことがあった。そのため、送り出し機関を変更する等の対応を行い、現在の技能実習生の採用に至る。
- ・特定技能についても関心があるが、中山間地域というデメリットがあり、転職されてしまう可能性もあるため、導入については検討中である。
- ・3名とも仕事に対する意欲がとても高く、日本語能力試験N1に合格して帰国したいと話している。
- ・認知症を患っている方もおり、日本人でも対応が難しいケースが多いにも関わらず、よく働いてくれている。手をつないでいる姿を良く見かけるなど、入所者に寄り添う姿勢もすばらしく、また、何より元気なので、職場が明るくなる。
- ・いずれは、介護の専門学校に在籍する留学生も採用したいと考えている。

### 受入れや定着を進めるにあたっての工夫

- ・介護の現場は、入所者の様子や症状を職員間で共有し伝えることが一番重要となるため、月2回ずつ、日本語と介護用語の授業を独自に実施している。
- ・施設周辺に賃貸住宅がないため、3名が暮らすための社宅を建設した。各人個室有りWi-Fi完備の上、光熱水費込みで家賃を16,500円/月としている。
- ・技能実習生は、自転車しか保有していないため、遠方の買い物の場合は送迎している。また、本人の友人が県内の別の施設で働いているため、連れて行って、バーベキューをしたこともある。

### 外国人本人の声

- ・来日前は、現地法人で経理の仕事をしていましたが、お金を稼ぎ、経験を積むために来日を決めた。
- ・日本語はYouTubeや参考書を使用し勉強している。就業後は、社宅で自習するか、技能実習指導員と勉強している。
- ・日本のドラマが好きなので、内容を理解するため、日本語を勉強することもある。
- ・県内、東京、千葉、岐阜にベトナム人の友人がおり、Zalo（チャットアプリ）を使い、コミュニケーションを取っている。
- ・仲の良い入所者にずっといて欲しいと言われていたことのあるので、実習修了後も、可能であれば日本に残り、介護の仕事が続けたい。

